

野村万作・野村萬斎 狂言公演

 ふくろやまぶし
梶山伏

野村裕基

野村家では「靉猿」で初舞台を踏みます。

 ここから始まる芸の道、
果てはこの道90年の野村万作へ——
未来につながる日本の古典喜劇を
お楽しみください。

 うつぽざる
靉猿

野村萬斎

 かね
鐘の音

野村万作


 文化庁 劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

**子ども無料招待
(40席程度)**

お申し込みはWEBにて

詳しくはこちらから ▼



https://www.biwako-hall.or.jp

 2024年 **12月7日(土)**

昼公演13:00開演(12:30開場/15:00終演予定)

夜公演17:00開演(16:30開場/19:00終演予定)

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール

 入場料金[全席指定・税込] S席**6,600**円(6,050円) A席**5,500**円(4,950円) 青少年(24歳以下)**3,300**円 シアターメイツ**1,650**円 ※()内は友の会会員料金

●一般発売:9月7日(土)10:00~ ●友の会優先発売:9月5日(木)10:00~(インターネット、電話受付のみ)

《チケット取扱い・問い合わせ先》

◎びわ湖ホールチケットセンター(10:00~19:00火曜日休館) TEL 077-523-7136

インターネット受付:https://www.biwako-hall.or.jp/

◎チケットぴあhttps://t.pia.jp/(Pコード 525-289)

◎ローソンチケット https://l-tike.com/(Lコード 56702)

◎e+ (イープラス)https://eplus.jp/

撮影:政川慎治

 主催:滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
後援:滋賀県教育委員会


びわ湖ホールオフィシャルスポンサー

叶 匠 寿 庵



平和堂


 木の家専門店
谷口工務店

野村万作・野村萬斎 狂言公演

解説 野村 萬斎

梶山伏

山伏 野村裕基
兄弟 深田博治
弟 飯田 豪
後見 高野和憲

山から戻って以来、様子がおかしい弟を心配した兄は、山伏に祈禱を頼みにいく。山伏が弟の様子を見て祈り始めると、弟はうつろな目つきで鳴き声をあげる。聞けば弟は山で梶（ふくろう）の巣にイタズラをしたことが分かる。梶を取り憑いたものであると、山伏は懸命に祈るのだが、症状はますますひどくなるばかり。そしてついには…
梶の鳴き声が印象的な楽しい演目です。観ている皆さんの頭にも、梶の鳴き声がこびりついて離れなくなってしまうかもしれません。

鐘の音

主 太郎冠者 野村万作
主 石田 幸雄
地謡 飯田 豪
後見 月崎晴夫
中村修一（13時）
内藤 連（17時）
野村裕基

主人は息子の元服に、黄金作りの太刀を差させてやろうと考え、金の値段を聞きに太郎冠者を鎌倉へ遣わす。ところが、「金の値を、寺の鐘の音と思い込んだ太郎冠者。寺々を回って帰宅すると、主人の前で鐘の音を説明するのだが…
春福寺・円覚寺・極楽寺・建長寺の寺々の鐘の音を擬音で説明したり、主人の怒りを解くため、鐘の音の子細を語り舞うのが見どころの狂言です。演者自身の声で鐘の音を表現する、狂言独自の趣向をお楽しみください。

うつぼざる 鞆猿

大名 野村萬斎
太郎冠者 高野和憲
猿曳 内藤 連（13時）
子猿 内藤 響（13時）
後見 中村修一（17時）
中村慶一（17時）
内藤 連（17時）

大名は、狩に行く道中で猿曳の連れた子猿の毛並みが気に入り、鞆（たづな）矢を入れる道具の張り替えをするのでその猿を譲れと迫る。猿曳は必死に抵抗するが、弓矢で脅されてやむをえず、ひと打ちに猿を殺そうとする。すると、猿はいつもの稽古と思つて杖を取り、無心に船を漕ぐまねをする。

猿のけなげさに猿曳はとても殺すことはできないと泣き伏して…。

※都合により配役が変更になる場合があります。

野村 万作 のむらまんざく



1931年生。重要無形文化財各種指定保持者（人間国宝）。文化功労者、日本芸術院会員。2023年文化勲章受章。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞の他、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、朝日賞、旭日小綬章等多数の受賞歴を持つ。『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』『敦一山日記・名人伝』等、新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。



野村 萬斎 のむらまんざい

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。国内外で多数の狂言・能公演にて普及に貢献する一方、現代劇や映画・ドラマの主演、舞台『敦山日記・名人伝』『子午線の祀り』『能狂言』『鬼滅の刃』『ハムレット』など古典の技法を駆使した作品の演出で幅広く活躍。現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞大賞、2024年坪内逍遙大賞を受賞。石川県立音楽堂アーティスティック・クリエイティブ・ディレクター。（公社）全国公立文化施設協会会長。2023年にびわ湖ホールで上演されたオペラ「こうもり」の初演出が好評を博す。



文化庁 劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業
対象公演

6歳から18歳の子どもを無料でご招待いたします。

同伴する保護者等（19歳以上）のチケットは子どもの人数に応じて定価の半額でご予約いただけます。13:00、17:00の2公演合わせて40席程度（A席）です。

申し込み

2024年9月7日（土）10:00～

上限席数に達し次第、受付を終了します。

▼お申し込み・詳しくはこちらから



滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール

<https://www.biwako-hall.or.jp>

シアターメイツ会員募集 入会金・年会費無料

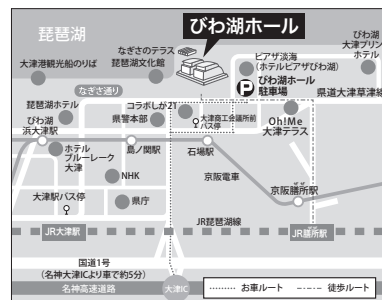
6歳以上18歳以下の方ならどなたでも入会できます。
優待対象公演を青少年料金の半額でご覧いただけます。※子ども招待は、ホームページの専用サイトから申し込みいただけます。※友の会料金のチケットはびわ湖ホールのみの取り扱いです。また、友の会優先発売期間中に窓口販売はございません。※チケットお申し込み後、期限内に所定の手続きをされなかった場合は、チケットの販売・引き渡しをお断りいたします。※テレコイル機能のついた補聴器や人工内耳を使用されている方は、テレコイルモードに切り替えるとヒアリンググループを使用した音声をとお楽しみいただけます。※やむを得ない事情により、公演内容等が変更になる場合があります。

シアターメイツ特別顧問
にゃんぱら先生

©飯田佳孝

【ご来場される方へのお願い】

※6歳からご入場いただけます。託児サービスは右記をご覧ください。※シアターメイツチケットはチケットセンター（電話・窓口）にてお取り扱いします。※子ども招待は、ホームページの専用サイトから申し込みいただけます。※友の会料金のチケットはびわ湖ホールのみの取り扱いです。また、友の会優先発売期間中に窓口販売はございません。※チケットお申し込み後、期限内に所定の手続きをされなかった場合は、チケットの販売・引き渡しをお断りいたします。※テレコイル機能のついた補聴器や人工内耳を使用されている方は、テレコイルモードに切り替えるとヒアリンググループを使用した音声をとお楽しみいただけます。※やむを得ない事情により、公演内容等が変更になる場合があります。



【びわ湖ホールへの交通のご案内】

- JR琵琶湖線（東海道本線）「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえ「石碕」駅より徒歩約3分
- JR琵琶湖線（東海道本線）「大津」駅より徒歩約20分

託児サービスのご案内

- 対象 1歳以上、5歳以下
- 利用料金 1公演お子さまひとりにつき1,000円
- 開設時間 各公演の開演30分前～公演終了後30分まで
- 申込方法 11月30日（土）までにびわ湖ホールチケットセンター（TEL.077-523-7136）までお申込ください。

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133（代）
<https://www.biwako-hall.or.jp/>